

旧東海道を往く、毎月第四週末のラン&ウォーク大会 ■開催期間: 2017 5月 ▶ 2017 11月

東海道五十七次 ウルトラマラニック

出かけよう、
東海道の旅路へ



ランとウォーク、 2種目で募集!

かつて、旅人は毎日十里(約40km)の旅路を歩き、
およそ二週間で東海道を往来したと言われていました。

東海道五十七次ウルトラマラニックは、かつての旅人の道程を辿る旅。

毎月第四週末、飛脚(ラン)の部と旅人(ウォーク)の部で開催。

全7回・14STAGEで旧東海道を踏破します。

今では僅か二時間余りで移動できる東海道ですが、生涯の中で、
私たちの日本が誇る、東海道を自身の足で踏みしめていただきたい。
そこには脈々と受け継がれたおもてなしの心と歴史深い情景が残されています。
一人では成しえない旅かもしれませんが、マラソンの緊張感とピクニックの楽しさ、
そして沢山の仲間がいるから大丈夫。2017年、さあ旅の扉を開きましょう。

特報

**2017年12月
箱根駅伝開催**

詳細・続報はHPにて発表

東海道五十七次ウルトラマラニック2017

東京

大阪

日本橋 - 高麗橋 全7STAGE紹介



皐月

5月
27日
28日



STAGE1 日本橋 - 戸塚宿 約46km (東京 - 神奈川)

旅のはじまりとなるSTAGE1は46kmの長旅だ。不忍池に建つ駅伝発祥の碑をスタートし東海道の起点である日本橋へ。都会の喧騒を抜け、品川宿の旧街道に入ると、そこには旧東海道の香りが漂っている。川崎宿、神奈川宿を過ぎると、東海道最初の難所として知られる権太坂が現れる。まずはここで軽く足慣らししてほしい。

STAGE2 戸塚宿 - 小田原宿 約40km (神奈川)

戸塚宿からしばらく進むと藤沢宿は遊行寺が現れる。明治天皇が東海道を歩かれた際に泊まった風情漂う境内が最初のチェックポイントだ。そして東海道の難所として知られる相模川は「馬入橋」を渡る。もちろん当時橋は無かった。相模の国、大磯宿に足を踏み入れると、そこには東海道の象徴「松並木」が残されている。松の並木はこれからの長い旅の道標となるだろう。そして海岸線を抜け小田原の城下町へ入る。

STAGE3-4 小田原宿 - 府中宿 約103km OVERNIGHT (神奈川 - 静岡)

本年度は東海道最大の難所「箱根峠」を越える100kmの道程はOVERNIGHT STAGEとして設定される。つまりこのSTAGEにはビバークが用意されていない。旅人の部の制限時間は30時間(飛脚の部27時間)。時間は十分にある。しかし、うかうかしていると箱根は漆黒の闇に包まれるだろう。薩埵峠から眺める富士と駿河湾は朝日に染まっている。



水無月

6月
24日
25日

文月

7月
22日
23日



STAGE5 府中宿 - 島田宿 約35km (静岡)

家康が晩年を過ごした駿府城家康像前から旅は始まる。鞠川宿では広重の絵画にも描かれる茅葺屋根のとろろ汁屋「丁子屋」で変わらぬ味とオモテナシを受ける。宇津ノ谷峠には明治、大正、昭和のトンネルがあるが我々が進む道は江戸の道。つまり険しい峠越えとなる。岡部宿は大旅籠「柏屋」、そして麴屋「かど万」の甘酒も絶品だ。この日のビバークは東西の境と言われる大井川だ。

STAGE6 島田宿 - 浜松宿 約42km (静岡)

朝の早い時間に美しい金谷の石畳を進むと「菊川宿」がある。間の宿が設けられている区間は難所と考えて間違いないだろう。見事な天守閣が聳える掛川城を経て宿場町袋井宿はどまんなか茶屋へ至る。ここは東海道を五十三次と捉えると中間点となるが、高麗橋までの道程はまだ前半だ。そして終着点は浜松城天守閣。そこには青年時代の家康像が建つ。まるで時代を遡る旅のようだ。

葉月
8月
26日
27日



STAGE7 浜松宿 - 吉田宿 約38km (静岡 - 愛知)

いよいよ旅は後半へと向かう。松並木を抜け舞坂の町脇本陣を過ぎると湖面に建つ大きな鳥居を目にする。東海道は浜名湖の最も海寄りを進むのだ。箱根と並び設けられた新居の関所を越え、白須賀宿は塩見坂を上りきったら後ろを振り返ってほしい。そこには西からの旅人がはじめて富士と太平洋の大海原を見下ろす絶景が待ちかまえている。

STAGE8 吉田宿 - 岡崎宿 約35km (愛知)

吉田城を出発ししばらく進むと現れる御油の松並木は見事だ。東海道の宿場町で最も近距離に位置する御油と赤坂。この境界は当時、東海道の中でも最も賑わった花街として知られるが、今はただただ美しい風情が漂う静かな街並みだ。藤川宿も松並木。この辺りまで来ると旅人は地図を見ぬとも旧東海道とわかることだろう。ゴールは家康の生地岡崎城。そこには幼年期の竹千代像が建つ。

STAGE9 岡崎宿 - 宮宿 名古屋市泊 約40km (愛知)

家康の生誕地。岡崎城から矢作川を渡る幼き日の秀吉像が姿を見せる。そして桶狭間古戦場では信長がいる。ここは戦国時代の英雄を輩出した歴史色濃い地域だ。間の宿ながら有松の美しい街並みは旧東海道随一の美しさを誇る。そして熱田神宮を通り宮の渡しへ至る。当時、多くの旅人は宮から桑名の間を船で往来したという。

STAGE10 宮宿 - 四日市宿 約39km (愛知 - 三重)

長良川、木曾川、揖斐川を渡るこの区間は「七里の渡し」と呼ばれる海路が使われた。庶民が使った中航路、内航路にも渡し場の名残が見られる。昨年は明治天皇も歩いた「佐屋街道」を通ったが、今年では中航路。つまり江戸時代の海岸線をたどる。長島を挟む雄大な三川を目にする外航路を用いた理由が分かるだろう。桑名には美しい城壁が残される。



長月
9月
23日
24日

神無月
10月
28日
29日



STAGE11-12 四日市宿 - 京都三条大橋 約100km OVERNIGHT (三重 - 京都)

本年度の東海道UMには2つのOVERNIGHT 100kmのSTAGEを用意した。ここでは箱根と並ぶ難所、漆黒の鈴鹿峠を越える。美しい亀山、関の町並みは明るい間に通過できるだろうが既に日が短い時節、殆どの旅人が暗闇の鈴鹿峠を越える事になるだろう。鈴鹿をクリアすれば長閑な近江の田園風景が広がる。雄大な琵琶湖の湖面は旅人の疲れを癒してくれるだろう。しかしまだ一山越えなければならぬのだ。逢坂の関を過ぎれば京の夜景が迎えてくれるだろう。

STAGE13 京都三条大橋 - 守口宿 約40km (京都 - 大阪)

豊臣家が滅んだ後、1619年東海道宿駅制度は全て整った。東海道五十七次。最終月は最後の4宿、京街道を辿る。京都の町は相変わらず美しい。紅葉燃える時季、コース制作に工夫を凝らした。竜馬の影が色濃く残る伏見宿、秀吉が淀君の為に建てた淀城、そして大坂は枚方宿を経て守口宿に至る。

STAGE14 守口宿 - 大阪高麗橋 表彰式典 約12km (大阪)

淀川から大坂城の堀につながる天神祭りの船渡御が往来する大川を遡る。水の都、実に美しい。大坂城天守閣で最後の通行印判を貰えば高麗橋は間近だ。長い旅の終着点は大坂の中心地、中の島中央公会堂前広場となる。本年度の表彰式典は「飛脚」と同じくゴール地点で開催する形式となる。旅仲間との晩餐は語りつくせないひと時となるだろう。



霜月
11月
25日
26日

本大会は、各宿場に設けられたチェックポイントを通過し、制限時間内にゴールを目指すステージレース(複数日開催競技)です。順位はゴールまでの所要タイムとタイムペナルティ(CP不通過など)の合計で決定します。なお本大会は一般公道を使用しますので、参加者は交通法規を遵守すると共に、地域との交流や環境への配慮を最優先するものとします。

主催	東海道五十七次ウルトラマラニック実行委員会
後援・協賛	NPO法人歴史の道東海道宿駅会議、SSER ORGANISATION、(社)日本ロゲイニング協会、各自治体、MAGMA、SWANS ナチュラム、コールマン、イトイテックス、シュビゲン、ヒラソル、ケシュア、カレンジ、コー・ランナーズ
種目	1.飛脚の部(ラン) 2.旅人の部(ウォーク)
開催地	スタート地点、宿泊場所、ゴール地点は各ステージ競技規則にて発表
コース及びCP	コース及びチェックポイントは各STAGE受付時に配布するマップに記載
制限時間	旅人の部は時速4km、飛脚の部は時速6kmで関門が設定されます 「箱根100K」「鈴鹿100K」については旅人の部30時間、飛脚の部27時間で設定されます
タイムオーバー	制限時間に間に合わない場合は回送車にてゴールまたは宿泊地まで移動していただきます 翌日からの競技への復帰は認められませんが、総合順位、タイム計測の対象外となります
参加費	1.全STAGE一括:132,000円(公式ホームページからの受付) 2.各STAGE:24,000円(旅人&飛脚)
参加費に含まれるもの	大会参加費、各宿場での飲食、ケータリング(夕食、朝食)、参加賞、完走証、保険
参加資格	①18歳以上の健康な男女 ②交通法規を遵守できるもの ③地域との交流に配慮できるもの ④環境に配慮できるもの ⑤一般公道を利用する大会である事を認識し、自己責任で参加できるもの
募集人数	最大100名※最低催行人数:50名
申込方法	ランネット/モシコム/公式ホームページ
競技中必携装備	ヘッドライト、後方照射用ライト、携帯電話、マップケース(A3)、マイカップ、水筒、筆記用具
ビバーク装備	テント(レンタル可)、マット、シュラフ、食器 ※その他気温、天候を考慮し準備してください。 本年よりマイテントの持ち込みを認めます。※ただし小型テントに限る(重量3kg未満)
荷物輸送	配布するオリジナルナップザック(45L・850×650mm)に収まるサイズの荷物を次のビバーク地またはゴールに搬送します ゴールに直送する荷物は受付時に運送会社にてお預け下さい(自費)
ビバーク(宿泊)	本大会はテント泊が主となります。入浴施設を有さない場合は近隣の施設を案内します
表彰式	各STAGEゴール後自由解散となります。表彰式はSTAGE14(11月26日)のパレード後に開催します

開催日程

STAGE1-2 5月27日-28日(東京-神奈川)

日本橋-戸塚宿-小田原宿 約86km/2DAYS

STAGE3-4 6月24日-25日(神奈川-静岡)

小田原宿-府中宿 箱根峠100K 約103km/OVER NIGHT

STAGE5-6 7月22日-23日(静岡)

府中宿-島田宿-浜松宿 約77km/2DAYS

STAGE7-8 8月26日-27日(静岡-愛知)

浜松宿-吉田宿-岡崎宿 約73km/2DAYS

STAGE9-10 9月23日-24日(愛知-三重)

岡崎宿-宮宿-四日市宿 約79km/2DAYS

STAGE11-12 10月28日-29日(三重-京都)

四日市宿-三条大橋 鈴鹿峠100K 約100km/OVER NIGHT

STAGE13-14 11月25日-26日(京都-大阪)

三条大橋-守口宿-大阪高麗橋+表彰式典 約52km/2DAYS

全STAGE参加特典

公式ホームページからの全ステージ参加は優待価格
132,000円でエントリーが可能です。
もちろん割引クーポンもご利用頂けます。

オフィシャルスタッフ募集

2017年度大会オフィシャル(大会サポートスタッフ)を募集します。

主要メンバー(年間複数回参加、事前に参加表明いただける安定要員、車両持ち込みが可能な方)にオリジナルオフィシャルスーツとウインドブレーカーを進呈。各回参加のオフィシャルにはオリジナルTシャツを進呈します。エントラントとして参加下さった皆様もぜひご参加ください。

交通費、前泊費用、大会中夕食、朝食支給します。参加希望の方はオフィシャル専用のFacebookグループに招待しますのでお声がけください。

Facebook

本大会はFacebookを利用しています。
<https://www.facebook.com/Tokaido53tugiUltraMaranic>
選手間の交流、写真の共有など、様々な情報を発信しています。ぜひチェックしてみてください。



東海道五十七次ウルトラマラニック実行委員会 東海道五十七次ウルトラマラニック公式HP
大阪府高槻市城北町2-11-13 ADICビル2F
TEL: 072-661-1511 FAX: 072-661-0070
E-MAIL: info.tokaido53@gmail.com
<http://www.tokaido57.org>

東海道 マラニック



※内容は一部変更になる場合がございます。詳しくは大会レギュレーションの発表をお待ちください